

とよきた

やる気 がんばり 思いやり

学校だより 第5号 R7.9.19

宇都宮市立豊郷北小学校 市川 文人



ホムペ QRコード
から版でご覧になれます

安全第一で！

夏休みが明け、早3週間が過ぎました。まだまだ厳しい残暑が続いていますが、子供たちは、元気いっぱい、笑顔いっぱいに学校生活を送っています。

遡ること、9月1日(月)、日中の最高気温は35.7℃の猛暑日となりました。暑さ指数(WBGT)も午前中から32を超え、下校時になっても熱中症危険レベルの31以上であったため、児童は教室待機といたしました。以後、10分刻みで暑さ指数を確認しましたが、一向に下がらず、結局、その日の下校は16時30分を回ってしまいました。習い事等、帰宅後の予定が入っている児童もあり、心苦しく思いましたが、児童の安全を最優先し、基準を厳守した対応をいたしました。



保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

今後、暑さ対策に限らず、台風やゲリラ豪雨等の対応を迫られる場面があるかと思いますが、速やかな判断と情報発信を心掛け、皆様と共に児童の安全・安心に力を尽くしていきたいと思っております。何卒、よろしくお願いいたします。

PTA 奉仕作業

8月23日(土)、夏休み明け学校再開を前に、「PTA 奉仕作業」を実施しました。

今年は、児童・保護者に加え、地域の皆様にもお声掛けをさせていただきました。「草刈り機を持ってきましたよ。」「少しでもお手伝いさせていただきますね。」「等、駆け付けてくださった地域の方々に頭が下がる思いです。

また、今年は、PTA 執行部のアイディアで、児童は「J-1グランプリ」(除草の量を競う企画)に参加しました。この企画が奏功し、児童は集中して作業に取り組み、一時間の作業時間があっという間でした。そして、袋いっぱいに草を詰め、にこにこしながら運んでくる子供たちの姿は、とても満足そうでした。

保護者の皆様の「にこにこ畑」での除草作業、地域の皆様の草刈り作業、更に、未就学の児童まで一生懸命草取りをしてくれました。お陰様で、気持ちよく夏休み明け登校開始日が迎えられました。本当にありがとうございました。

事前準備から当日の運営に至るまで、堀川 PTA 会長様を始め執行部の皆様のご尽力に、心より感謝申し上げます。



本番に向けて！

き渡りました。

一週間後に迫った「うつのみやジュニア芸術祭学校音楽祭 合唱の部」の発表に向けて、沼尾教諭の指導の下、熱のこもった練習が展開されています。



子供たちも、「歌にもっと思いを乗せたいです。」「みんなの心を一つにして歌いたいです。」等と述べ、課題を明確にしながらスキルアップに努めています。更に練習を重ね、当日は、全てを出し切って歌い上げます。ご都合のつく方は、是非、ご来場ください。

うつのみやジュニア芸術祭 学校音楽祭
期 日 令和7年9月26日(金)
場 所 宇都宮市文化会館 大ホール
参加者 6年生
歌唱曲 「ぼくらの日々」
発表時間 10:56~11:02【予定】

夏休み作品整理

9月2日(火)、地域学校協働活動推進員の高橋様・室井様に、夏休みの児童作品の整理をしていただきました。

子供たちは、この夏休み、国語や図画工作の作品作りに熱心に取り組んできました。いざ、コンクールへの出品となるわけですが、締め切り日が間近に迫っているものばかりで、ボランティアの方々の助けが本当にありがたいです。

個票への記入漏れはないか確認したり、一覧表にまとめたりしながら準備完了！お陰様で、今年も無事すべての作品が出品できました。



ホットタイム！

「ホットタイム」は、学級内の仲間意識を高める大切な活動です。

9月17日(水)は、今年度2回目のホットタイムを、各学級で実施しました。「スゴロクトーク」「人間いす」「私は誰でしょう？」等、楽しく活動しながら友達同士がコミュニケーションをとったり友達の新たな一面を発見したりすることができました。また、どの学級にも共通していることは、子供たちが「とってもいい表情！」で活動していることです。

今回のホットタイムも、心と心が通い合い「心がポカポカする時間」、「ホッとする時間」となりました。



いじめゼロ集会

9月9日(火)、いじめの根絶を目指し、「いじめゼロ集会」を行いました。

初めに、各学級で真剣に話し合い作成した「いじめゼロ宣言」をクラス全員で唱え、それぞれのクラスの力強い宣言が体育館に響き渡りました。

以下、各クラスの宣言を紹介します。



あいてのきもちをかんがえて、
ずっとなかよくします。【1-1】

あいてと自分をたいせつに
します。【2-1】

言葉も心もふわふわに、だれにもいじめを
しない3年生を目指します。【3-1】

ぼくたちわたしたちは、相手のこと
を思いやり、だれに対してもやさしく
接して、みんなが笑顔で生活でき
るようにします。【4-1】

相手の気持ちを考えて、思いやりの
気持ちを持ち、仲間外れやいじめの
種をなくそう！【5-1】

笑顔をたくさんにするために、一人一人を大切にする
クラスをつくります。【6-1】

いじめゼロ宣言！



わたしたちは、こまっている人たちを見のがしません。
そして、やさしく声をかけ、笑顔あふれるクラスを作り
ます！【5-2】

一人一人が相手を思いやり、仲間を信じ、誰ひとり悲
しい思いをさせないで、毎日が、笑顔あふれるいじめ
0のクラスを目指します。【6-2】

そして、この宣言の実践と結果を、6年生は、3月18日(水)【卒業式前日】、1～5年生は、3月24日(火)【修了式の日】に、報告し合うことを約束しました。

最後に、以下、校長の話です。

私たちは、なぜ、いじめを憎むのでしょうか？ それは、いじめは「最悪！」だからです。

今から22年前、私は、「わたしのいもうと」(松谷みよ子/文、味戸ケイコ/絵)という絵本と出会いました。本を読み、これほど怒りと悲しみを覚えた本はありません。これは実話です。本当に起きた話です。聞いてください。



わたしのいもうと

この子は、私の妹。向こうをむいたまま、ふりむいてくれないのです。妹の話、聞いてください。
今から7年前、私たちは、この町に引っ越してきました。トラックにのせてもらって、ふざけたりはしゃいだり、アイスクャンディをなめたりしながら……。妹は、小学校4年生でした。

けれど、転校した学校で、あの恐ろしいいじめが始まりました。言葉がおかしいと笑われ、跳び箱ができないといじめられ、クラスの恥さらしとののしられ、くさい、ぶたと言われ、ちっともきかない子じゃないのに、妹が給食を配ると、受け取ってくれないというのです。とうとう、だれ一人口をきいてくれなくなりました。

わたしのいもうと

松谷みよ子 文・味戸ケイコ 絵



ひと月たちふた月たち、遠足に行った時も、妹は一人ぼっちでした。やがて、妹は学校へ行かなくなりました。

ごはんも食べず口もきかず、妹は黙ってどこかを見つめ、お医者さんの手もふりはらうのです。でも、その時、妹の体に、つねられたあざがたくさんあるのがわかったのです。妹はやせ衰え、このままでは命がもたないと言われました。

母さんが必死で固く結んだ唇にスープを流しこみ、抱きしめて抱きしめていっしょに眠り子守唄を歌って、ようやく、妹は命をとりとめました。

そして、毎日がゆっくりと流れ、いじめた子たちは中学生になって、セーラー服で通います。ふざけっこしながら、かばんをふりまわしながら。でも、妹はずうっと部屋に閉じこもって、本も読みません。音楽も聴きません。だまってどこかを見ているのです。ふりむいてくれないのです。そしてまた年月が経ち、妹をいじめた子たちは高校生。窓の外を歩いていきます。笑いながら、おしゃべりしながら……。



このごろ妹は、折り紙を折るようになりました。赤い鶴、青い鶴、白い鶴、鶴にうずまって。でも、やっぱり、ふりむいてはくれないのです。口をきいてくれないのです。母さんは、泣きながら隣の部屋で鶴を折ります。鶴を折っていると、あの子の心が分かるような気がするの……。ああ、私の家は鶴の家、私は野原を歩きます。草原に座ると、いつの間にか、私も鶴を折っているのです。

ある日、妹は、ひっそりと死にました。鶴を手ひらにすくって、花といっしょに入れました。妹の話はこれだけです。

私をいじめた人たちは、もう私を忘れてしまったでしょうね。遊びたかったのに、勉強したかったのに……。

いじめは人の命を奪う恐ろしい行為であり、絶対に許されません。では、どうすれば、このような不幸、悲しみを起こさないで済むのでしょうか？ それは、たった一つです。

「自分がされていやなことは人にしない・言わない」これだけです。このことを徹底します。これは、去年からの豊北小のいじめゼロ宣言です。どうか、このことを心に誓ってください。単なる約束ではありません。「誓い」です。「いじめる人がいなければ、いじめられる人もいない」のです。

「いじめゼロ」を実現し、184人全員の笑顔輝く豊郷北小学校を私たちの手で創り上げていきましょう。

